

〈第1回〉

## 超高齢社会の中で注目! 『遺品整理』と 『遺品整理士』

遺品整理士認定協会 理事長 木村榮治

高年齢者が亡くなられた後の遺品を整理する人がいないために、地域の工務店やリフォーム業者に「遺品整理」の相談が持ち込まれるという話が、ここ数年で聞かれるようになった。高齢化の進展に伴い、今後このようなケースが増えることが予想され、実際に専門の資格を取得した住宅事業者も少なくないという。そこで、これからの高齢化社会を見据え、遺品整理士認定協会の木村榮治理事長に、「遺品整理」と「遺品整理士」の仕事について、解説して頂く。

「遺品整理」とは？

最近、色々な場面で『遺品整理』という言葉を目にするようになった。『遺品整理』は、「亡くなられた方の遺品を整理すること」を指しますが、高齢化や核家族化等の進行に伴い、この遺品整理をご遺族に代わり、対応する専門業者が昨今、脚光を浴びるようになってきました。

・遺品を整理したいが、重い荷物が多く、遺品整理が進められない  
・何が大切なものがわからず、専門家に任せたい

「遺品整理」とは、ご依頼されるご遺族のお気持ちとしては、「何から始めて良いかわからない」というのが本音のようです。

・思い出のこもったものばかりで、触れる度に涙ぐみ、作業が進まない

「遺品整理」は、ご依頼されるご遺族のお気持ちとしては、「何から始めて良いかわからない」というのが本音のようです。

・思い出のこもったものばかりで、触れる度に涙ぐみ、作業が進まない

遺品整理の需要の高まりと「遺品整理士」

需要が高まっていく一方で、遺品整理業者の間にも、遺品の不法投棄や不当売却、費用の高額請求等、悪質なことを行う業者が叫ばれています。

遺品整理業務に対してのトラブルが低下し、法規制等を見直した対応の多発が叫ばれるようになり、そうした業界の問題性を抑止するべく、誕生したのが、私たち「遺品整理士認定協会」であり、「遺品整理士」の存在です。

遺品整理についての知識はもろもろのこと、故人やご遺族のお気持ちに寄り添い、悩まれることなく、安心して任せられる専門家の育成に努め、会員も本年9月現在で、2万名にのびました。

遺品整理を依頼される方の取得も増えており、名実ともに、遺品整理に携われる皆様様に知って頂きたい資格となりました。

木村 榮治 Eiji Kimura



現在は、「遺品整理士」の資格認定のみならず、「自分の身・周囲の安全を守り、作業を行う」ことが必要とされる、『特殊清掃』についても、「事件現場特殊清掃士」資格を創設するなど、遺品整理に係るトラブルや孤立死・ごみ屋敷の増加といった、社会問題に対して、使命を持って立ち向かい、現在の活動に至る。

一般社団法人 遺品整理士認定協会 理事長  
一般社団法人 事件現場特殊清掃センター 理事長  
連絡先：TEL 0123・42・0528

遺品整理士ができること

遺品整理士の方々には、どんなに小さなことでもお尋ねください。

トラブルを防ぐ意味でも、トラブルから身を守る意味でも、疑問が残ることは、あつてはいいけません。遺品整理は、一生に一度のことでもございませし、ご納得されない状態で依頼されるのが、トラブルの原因になります。

遺品の整理はもろもろのこと、廃棄物の処理や遺品のリサイクル、お部屋が片付いた後の清掃や消臭作業等、皆様それぞれ、色々なことを依頼され、遺品整理士は、それらの要望全てに答えられるよう、ご尽力頂きます。

遺品整理のご依頼を考えた際、皆様困られるのが「安心して任せられる遺品整理業者」であり、安心の指標として、遺品整理士資格が広くご理解頂けたら、ご負担を少しでも軽くするお手伝いができるのではないかと信じております。

(毎月15日号に掲載します)